



垂水市立 新城小学校

児童数 19人
学級数 4クラス



《テーマ》 人権尊重の精神を基にして、豊かな心情をもち、認め合い、助け合い、ともに伸びようとする実践力のある子どもを育てる（M o mを大切にした職員室）

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校の児童は、学年を問わず仲がよく、素直で優しいが、自己肯定感が低い。自信のなさが、積極的に行動し自分の考えを表現する力不足につながっていることが、アンケートや教育相談等で分かった。そこで、今年度は、人権意識を高め、実践力のある子どもを育てることを目指して、本テーマを設定した。

研究スケジュール

学期1回・・・「学校楽しいーと」の実施
毎月第2火曜日・・・心の推進委員会の実施
（毎月アンケート実施）
5月2日（月）職員研修の実施
6月15日（水）人権教室の実施【講師招聘】
11月7日（月）職員研修の実施【講師招聘】
2月10日（金）PTA人権教室の実施【講師招聘】

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 人権教室（全児童・1時間）

1学期に、全児童を対象に人権教室を実施した。1～4年生は、一人一人みんな違うことよさや違いを認め合うことの大切さを学び、5・6年生は、SNSでの言葉のトラブル例から、相手に伝わるように話すことや相手の気持ちを考えることを学んだ。

□ 職員研修（全職員・1時間）

2学期の職員研修において、「人権教育は全ての教育の基本」について講師の講話があり、M o mによる人権教育の推進、個別の人権課題、「自他を大切にする」教育の充実について研修を深めた。

□ PTA人権教室（全保護者・1時間）

3学期に、全保護者対象に、子どもの人権に焦点を当て、子どもの自己肯定感・自尊感情を高めるための、教師、保護者の関わり方について研修した。

□ 校内人権週間での人権標語の作成

全児童が人権標語をつくり、校内に掲示した。

□ 縦割り班活動

異学年での縦割り班を編成し、ボランティア活動や給食当番、掃除等、様々な場面で縦割り班での活動をした。

□ 教室・廊下設営

自尊感情や自己肯定感を高めるために、各自の作品へ友達や教師からの称賛や感想を書いて伝える取組を行った。

□ 弁護士によるいじめ防止授業

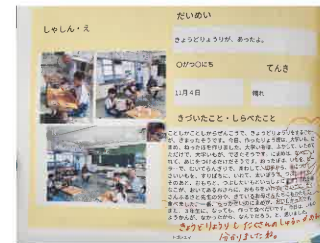
いじめとは何か、いじめはなぜいけないのか真剣に考えた。

□ ホームページでの情報発信

学校ホームページ上にて、県子どもの人権プロジェクト推進校の取組やSOSの出し方教室の様子について、保護者や地域等へ情報発信を行った。



【人権教室】



【担任からの称賛コメント】



【弁護士によるいじめ防止授業】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

- みんなのよいところを見付け、話したり、聞いたりしようとする態度が見られた。
- 周りが認めてくれることで、自分の発言に自信がもてるようになった。
- 児童・職員・保護者を対象に講話をしていただいたことで、人権意識も向上した。また、それぞれの立場における課題や対応を学んだことで、よりよい人間関係が構築されつつある。
- 今後は、自他のおよさを確かめ合う場の設定（ありがたいの木の掲示等）を工夫していきたい。